

## 層だ 雲よ 峡の ビヅターセンタ-

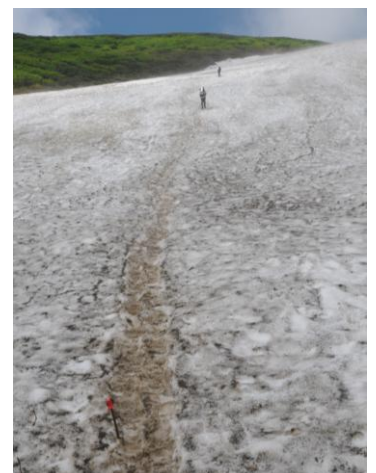


【 白雲岳と稜線の花／小泉平 6月26日 】

## 稜線の花

6月の北海道は、例年にないほど気温が上昇して各地で真夏日が続きました。この異例の暑さの影響は大雪山でも顕著に見られ、特に山の稜線ではコマクサやタカネスミレなどの高山植物が例年よりも10日ほど早く開花しました。

しかし早咲きの稜線とは対照的に、今年は例年よりも厚みのある雪渓が多く、雪が遅くまで残るような所に咲く花と比較すると、かなりのバラつきが出てきそうです。



【 赤岳第3雪渓／7月16日 】

# 山の奥



## エゾナキウサギの フィールドサイン



### 今回の子ビタおは

エゾユキウサギと  
エゾナキウサギ兄弟  
です。

ぼくたち  
道産子



大雪山の代表的な動物といえどエゾナキウサギを連想する方も多いのではないだろうか。しかし名前は知っていても生態については、よく解らないというのが大半のようです。そこで今回はエゾナキウサギの生態について紹介していきます。



①ナキウサギ成獣



②若い个体



③岩場の生息地



④樹林帯の生息地



⑤通常糞



⑥盲腸糞



⑦溜め糞



⑧貯食場

エゾナキウサギの大きさは①大人の個体で16cm前後と手の平に乗る程度です。体重は120~150g。秋頃に親から別れた②若い個体は、大人の約半分ほどの大きさです。体形は全体的に丸みを帯びており、短い耳と短い足が特徴的なウサギです。

ナキウサギは名前の通り鳴くウサギですが、特に鳴くのは雄の個体で、縄張りや雌雄の鳴き交わしの時に「キチツキチツ…」という甲高い金属音のような声で連続的に鳴きます。雌は「ピュ」などの単音で鳴くことが多く、危険を感じた時などは、どちらも「ピュルル…」と鳴きながら岩穴に隠れます。

エゾナキウサギは、山の斜面が崩れた③岩場に生息しており、このような場所は、大小の岩が複雑に積み重なっているため、隙間が多く迷路のようになっています。これらの生息地は、高山帯に集中しています。④低地にも局所的に生息している所もあります。エゾナキウサギは岩場で活動している事から痕跡を見つける事は容易ではありませんが、注意深く観察しているとナキウサギ特有の痕跡を見つけることができます。

糞と同様に特徴的な痕跡としては、沢山の植物の葉が集められている⑧貯食場があります。エゾナキウサギは、完全な草食ですから植物しか食べません。(秋にはキノコなども食べる)冬眠をしないエゾナキウサギは、夏の終わりにから雪が積もるまでの間に、植物の葉や茎などを風通しの良い岩の隙間などに運び込みます。そして、初冬頃までに貯食して置いたバケツ数杯分ともいわれる植物の葉などを食べながら厳しい冬を越します。

以上紹介したエゾナキウサギの痕跡例は、ほんの一部にすぎません。そして、このような生息地は、登山道沿いに多くあることから大きな声などは控え、ナキウサギを驚かさなないように適度な距離を保ちながら観察してください。

## 「花の大雪山」



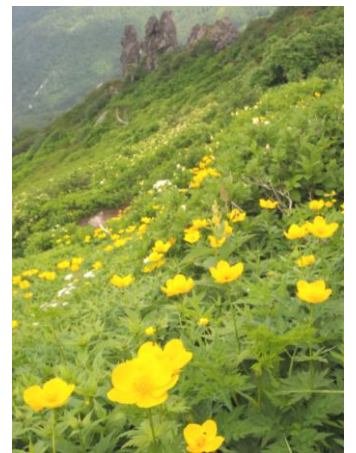
### 山開き 6月27日

今日は山開き。恒例行事前の情報提供にと昨日は赤岳に登ってきましたが、山頂についてみると山の上はもう花盛り。周辺ではチョウノスケソウやホソバウルップソウなどが咲き、なかでもタカネスマレ、イワウメは最盛期といえるほど周辺一帯に群生していました。このような早い時期からの開花については、5月下旬からの連続した好天と高温の影響といえます。



### コマクサ始めました 7月5日

やはり早いです。例年ならまだパセリのような葉っぱがポツリポツリと目立つだけのコマクサ平ですが、今年はずでに見頃に入っています。薄紫のイワブクロ、黄色い花のキバナシオガマ、と、三色揃い踏みの様相を呈してきました。コマクサ平の花は7月初旬にしてすでに最盛期を迎えつつあります。



### 稜線の花は後半戦 7月9日

山の稜線では、花の種類が増え、全体的に見ても最盛期を迎えているものが多くなっています。そんな中、黒岳山頂周辺で今最も旬の花がイワブクロです。エゾツツジやコマクサなども咲いていますが、どちらもイワブクロより早くから開花しているので、ここ数日前からは少しお疲れ気味になっています。その稜線の花もそろそろ後半戦です。お目当ての花を見に行っていない方は、早めの登山をお勧めします。



### 「青」が来た！ 7月16日

「稜線の花はもう盛りを過ぎて」と、書き出すことになるだろうという予想は大きく外れました。緑岳山頂から小泉岳方向に少し歩いてみると、あらっ、ビックリ。エゾハハコヨモギの白緑の葉が包む山肌のあちらこちらに、鮮やかなピンクのエゾツツジの花・花・花。そして足下のそこそこに上品な青紫色のチシマギキョウが！稜線は夏本番。ついに「青」の季節が来ました。





まじろ土ようば  
スライド上映会  
16:00より



### ■ 沼の平紅葉登山

【日時】9月12日(日) 8:00~16:00  
【内容】沼の平は山腹溶岩台地上に多くの沼が点在する湿原です。ダケカンバなどの疎林に囲まれた紅葉期の湿原を観察します。  
【募集】15名  
【集合】愛山溪温泉(現地集合解散)  
【持ち物】登山装備・昼食

### ■ 季節の自然散策

【日時】9月・10月の毎週日曜日  
9:00~12:00  
【内容】紅葉の季節、層雲峡周辺の身近な自然を案内いたします。  
【募集】各回5名  
【集合】層雲峡ビジターセンター  
【持ち物】歩きやすい装備、飲み物

★★観察会は事前申し込みが必要です★★  
★★詳細についてはお問合せください★★

### ■ 2009大雪山フィールドノート ～写真展～

【日時】常時展示  
【内容】一年を通じた大雪山のありのままの姿を写真と解説文で紹介する。  
【場所】ビジターセンターレクチャールーム




【日時】8月1日~8月22日



13:30~15:30  
折って切って開いたら、あらすテキ♪  
子供から大人まで楽しめます。



- 5/2 オオジシギ・ノビタキ・シマリス(上)、5/4国道沿いでヒグマがシカを襲う(層)、5/8ウグイス(層)、5/11オオルリ・スジグロチョウ(上)、5/12みぞれ(層)、5/16エゾムラサキツツジ(層)、5/20エゾヤマザクラ(層)、5/21エゾハルゼミ(上)、5/29朝霜(層)、6/1オオバナノエンレイソウ(上)、6/9アオバト(上)、6/10チシマザクラ(黒)、6/23アカゲラ巢立ち(上)、6/25コマクサ(赤)、6/28気温31℃(層)・ヒグマ(高)、7/1ミヤマクワガタ(上)、7/4エゾツツジ(赤)、7/5ヘイケボタル(上)、7/7ウコンウツギ・イワブクロ(黒)、7/8ヤナギラン(層)、7/10エゾライチョウ(層)、7/11エゾナキウサギ(ユニ石狩)、7/16チシマツガザクラ・カラフトリシジミ(赤)、7/20アキアカネ・コエゾゼミ(上)(上)、7/21ダイセツトリカブト(黒)・ミズバショウ(高)、7/23 アオノツガザクラ(赤) \* 観察地: 上川(上)・層雲峡(層)・黒岳(黒)・赤岳(赤)・高原沼(高)

発行:大雪山国立公園   
Tel 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401  
HP アドレス <http://sounkyovc.town.kamikawa.hokkaido.jp/>  
開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料  
11月~ 5月/9:00~17:00月休(祝祭日翌日)